

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「お年寄りを敬う」という基本的な理念を掲げ、地域密着型サービスとして、利用者の家族及び、地域の方々の支援に取り組もうとする熱意が見られる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所の理念はホールに掲示されており、業務日誌やケース記録にもその考え方が活かされている。また、全職員で行われる、月1回の職員会議で理念の共通理解を図り、職員一人ひとりの活動に理念の浸透が見られる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	10月25日には地域の方々と夕食会を兼ねた交流会を開催したり、地域のゴミ拾いや援農活動に地域の一員として参加し役割を担う努力をしている。また、散歩の時などにも地域の方々との会話を大切にしている。		
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員が外部評価の意義を良く理解しており、評価結果の内容を職員会議等で継続的に再確認し、事業所の活動内容の改善に活かされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>7月22日に運営推進会議を開催し、主に市地域包括センターとの交流を図った。現状では推進会議の運営が十分に機能していない面もあるが、今後の計画には地域の機関や団体との幅広い参加を求めた内容が企画されている。</p>		<p>グループホームの利用者が地域の一人として生活していくためには、運営推進会議が機能し、会議構成委員の支援が不可欠である。更なる交流を継続して図り、具体的な活動が計画されることを期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>飯山市の委託を受けて年3回の介護教室を行うなど、市担当者との信頼・連携が図れている。今後は当グループホームの課題等について協議できるような協働体制を築いていけると良い。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>介護計画作成の説明時、家族の訪問時、各行事の時、ゆりかご便り等家族との交流する機会を捉えて、利用者の様子や状態を伝えることができている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居の説明時、家族の訪問時等に、事業所や職員から積極的に意見を聞き出す姿勢が見られ、利用者家族アンケートからも良好な評価を得ている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>所長（運営者）の職員を大切にするという姿勢が基本にあり、職員の退職や移動は少ない。「事業所の理念」を共有したなじみの職員と利用者との良い関係が保たれている。</p>		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の経験年数に合わせ、年間の研修計画を立て、O・J・Tを中心とした研修に取り組んでいることは実践力の向上となり、日々の生活支援に活かされている。</p>		<p>交代で外部研修に参加する機会を確保し、職員間への伝達講習を行う等により、更なる介護活動へのモチベーションを高めることができると思われる。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>3ヶ月に一度北信地域で構成されるグループホームの研修会に参加し、実習交流も行っている。</p>		<p>運営推進会議の充実・発展と共に、他法人事業所との交流や勉強会の活動も増え、サービスの質の向上につながることを期待したい。</p>
<p><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>					
<p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>体験入居、お試し利用を体験して頂き、グループホームの雰囲気を知って頂いてからの利用に心掛けている。その中で利用者本人、家族とのコミュニケーション(話し合い)を大切にしている。</p>		
<p><b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b></p>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>「お年寄りを敬う」という理念に基づき、一人ひとりの価値観や生活してきた経過を大切にして、個々のお年寄りのペースに合った支援がされている。事業所の随所に和やかな語り合いの風景が見られる。</p>		
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に本人に確認したり、日常生活の中から本人の意向を把握し、職員間で話し合い利用者の希望に沿うようにしている。</p>		<p>「お年寄りを敬う」という理念は職員間に浸透しているように見られるが、今後センター方式の導入を図ることにより、より一層利用者の心の物語に気づき、豊かなコミュニケーションが取れることを期待したい。</p>
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画作成については、家族及び本人と十分な時間をかけた話し合いが行われた中での作成がされている。月1回職員が利用者についてのレポートをまとめ、全職員で検討する機会を設け、職員間での統一されたケアができるように心掛けている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>常時気づいたことが記入できるように記録用紙が用意されており、週1回の小会議、月1回の職員会議でアセスメント、モニタリングが定期的に行われている。また、急な変化が生じた場合は、その日のうちに話し合いが行われ、必要に応じた対応が図られている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人・家族の要望等に合わせ、必要な支援を考えた内容が提供されている。また、自主事業として、ショートステイ、日中預かり、送迎等必要に合わせた支援体制が取られている。</p>		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族の希望を大切にし、本人のかかりつけ医と相談・話し合いを大切にし、納得のいく医療が受けられるような支援が実施されている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期に対しては、かかりつけ医と家族の十分な話し合いの時間をとりケアの方針や方向性を決めている。家族が望めばターミナルケアを行い、最後まで看取る体制をとっている。</p>		<p>本人及び家族の希望があれば、終末期ケアに対応したいという姿勢は理念の一直線上にあり、今後かかりつけ医や協力医療機関との連携のもとに指針等の整備を期待したい。</p>
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>「お年寄りを敬う」という理念の通り、個人の経験や生活歴を大切にし、《尊厳を支える》ことについても会議等で常に話題にし、徹底しようとしている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>「その人らしく、その人のために」は施設内の目標であり、利用者のペースに合わせたり生活ペースに合わせたり生活リズムを崩さないように支援している姿が見られる。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立については利用者の希望を聞きながら、郷土に合った食材、献立が提供されており、利用者にも好評である。食事は調理員が作るが、野菜の下ごしらえやおやつ作りは利用者が協働で行なっている。食事は兼職の職員のみ一緒に食べ、他の職員は介助や見守りに回る。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴は全員が可能であり、入浴時間については本人の希望に合った入浴が行なわれている。毎日入浴を希望される方は、隣接のデイサービスで要望に応じている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	配膳、食事洗い、なまごみ捨て、草取り、縫い物等一人ひとりができることを日常生活の中で役割分担をして参加してもらっている。また、プライベートの時間作りにも配慮がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	自然に囲まれた環境にあり、花の水やり、野菜の世話、散歩等は日常的に行なわれている。温泉旅行、花見、バラ公園行き等季節に応じた行事が実施され、生活に活気が取り入れられている。		地域がら冬期の日常生活の活性化に工夫が求められると思う。お小遣いを使った利用者個々の買い物外出等も一つの方法と思われる。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者の個室の鍵はかけず、玄関の施錠もされていない。階段部分のみ転落防止のため施錠がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昼間の避難訓練は行なっているが、夜間の避難訓練は行なっていない。(認知症という独自性と職員数との関係で)消防署、警察署、近隣の人達の協力体制作りに取り組み始めている。		運営推進会議の定期的開催により、地域を巻き込んだ組織づくりがされて、夜間を含めた避難訓練の回数を重ねられることを期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	基本的には同じメニューを食べているが、利用者個々の状態に対する観察・記録は丁寧にされており、キザミ食、ミキサー食、高血圧・糖尿病のある人等個別対応がしっかりとされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間兼食堂ホールはやや狭い気がするが、床暖房や天窓よりの自然採光やトイレの構造等に使いやすい工夫がされており、居心地良い空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	キャスト付きの戸棚が居室に配置されており、家族が宿泊する時には外に出して居室を広くして使えるようになっている。また、本人の使い慣れた物を持ち込んだり、好みのものを飾ったりして、その人らしさが生活の中に活かされている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。